(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3869035号
(P3869035)
(45)発行日　平成19年1月17日(2007.1.17)　(24)登録日　平成18年10月20日(2006.10.20)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 353
A63F 7/02 334

請求項の数 2　(全 12 頁)

(21)出願番号　特願平7-221852
(22)出願日　平成7年8月30日(1995.8.30)
(65)公開番号　特開平9-56920
(43)公開日　平成9年3月4日(1997.3.4)
審査請求日　平成14年7月10日(2002.7.10)

(73)特許権者　000108937
ダイコク電機株式会社
愛知県名古屋市中村区那古野１丁目４７番１号　名古屋国際センタービル２階
(74)代理人　100071135
弁理士　佐藤　強
(72)発明者　神門　徹也
名古屋市中村区那古野一丁目４７番１号　名古屋国際センタービル２階　ダイコク電機株式会社内
(72)発明者　藤巻　靖裕
名古屋市中村区那古野一丁目４７番１号　名古屋国際センタービル２階　ダイコク電機株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】遊技場用記憶媒体発行装置

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技媒体数を示す遊技媒体情報が記録された記憶媒体を発行すると共にそのことを示す発行情報を管理装置に伝達する遊技場用記憶媒体発行装置において、
前記管理装置との間の通信にトラブルが発生したオフライン状態で前記記憶媒体を発行する場合は、当該記憶媒体にオフライン状態での発行であることを示す異常発行情報を記録すると共に、前記発行情報をメモリに記憶することによって、オフライン状態で前記記憶媒体を発行した場合であっても当該記憶媒体の真偽を判定できることを特徴とする遊技場用記憶媒体発行装置。
【請求項２】
前記記憶媒体を再発行する場合は、当該記憶媒体に再発行であることを示す異常発行情報を記録すると共に、前記記憶媒体を遊技場の営業時間外に発行する場合は、当該記憶媒体に営業時間外の発行であることを示す異常発行情報を記録し、複数の異常状態を同時に満たした状態で前記記憶媒体を発行する場合は、当該記憶媒体に複数の異常発行情報を並べて記録することを特徴とする請求項１記載の遊技場用記憶媒体発行装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、遊技媒体数を示す遊技媒体情報が記録された記憶媒体を発行すると共にそのことを示す発行情報を管理装置に伝達する遊技場用記憶媒体発行装置に関する。

【０００２】
【発明が解決しようとする課題】
従来より、例えばパチンコホールでは、玉計数機を島端に設置し、パチンコ玉が投入されたときはその投入されたパチンコ玉を計数すると共に、その計数値を発券機に伝達するようにしている。従って、発券機からは投入されたパチンコ玉数を示す預り券が発行されるので、その預り券を景品交換カウンタに提出することにより獲得パチンコ玉と所望の景品とを交換することができる。
【０００３】
ところで、近年、パチンコホール内の各種機器を集中管理することにより経営効率を高めることが行われており、その手段として各種機器からの情報を一括して管理する集中管理装置を設けるようにしている。この場合、発券機からは預り券が発行される毎に発券情報（発券Ｎｏ．、計数データ等）が集中管理装置に伝達されて記憶されるので、預り券が景品交換カウンタに提出された際に預り券に記憶されている発券情報と集中管理装置に記憶されている発券情報とを照合することにより預り券が有効か否かを確認することができ、以て預り券の偽造不正を防止することができる。
【０００４】
しかしながら、以下に示す各異常状態で預り券を発行した場合は、預り券が偽造されたり不正に発行される可能性がある。
（１）再発行……紙詰り、停電等の理由により正規の預り券を発行できなかった場合は、従業員が発券機を直接操作することにより預り券を発行するようになっているので、従業員により預り券が不正に発行される虞がある。
【０００５】
（２）オフライン発行……集中管理装置との間の通信機能が失われた状態であっても、預り券を発行する必要があるので、従業員により預り券が不正に発行される虞がある。この場合、集中管理装置に発券情報が記憶されないので、不正照合することができないことから、預り券が偽造される虞れがある。
【０００６】
（３）時間外発行……パチンコホールの営業時間外に発行する場合は、セキュリティが低いので、従業員により預り券が不正に発行される虞がある。
【０００７】
このため、以上のような異常状態で預り券が不正に発行された場合は、不正な預り券でもって景品が払出されてしまうので、パチンコホールは多大な損害を被ることになる。
【０００８】
本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、その目的は、遊技媒体数を示す遊技媒体情報が記録された記憶媒体を発行すると共にそのことを示す発行情報を管理装置に伝達する構成において、不正な記憶媒体が使用されてしまうことを防止できる遊技場用記憶媒体発行装置を提供することにある。
【０００９】
【課題を解決するための手段】
本発明は、遊技媒体数を示す遊技媒体情報が記録された記憶媒体を発行すると共にそのことを示す発行情報を管理装置に伝達する遊技場用記憶媒体発行装置において、前記管理装置との間の通信にトラブルが発生したオフライン状態で前記記憶媒体を発行する場合は、当該記憶媒体にオフライン状態での発行であることを示す異常発行情報を記録すると共に、前記発行情報をメモリに記憶することによって、オフライン状態で前記記憶媒体を発行した場合であっても当該記憶媒体の真偽を判定するものである（請求項１）。
【００１２】
また、前記記憶媒体を再発行する場合は、当該記憶媒体に再発行であることを示す異常発行情報を記録すると共に、前記記憶媒体を遊技場の営業時間外に発行する場合は、当該記憶媒体に営業時間外の発行であることを示す異常発行情報を記録し、複数の異常状態を同時に満たした状態で前記記憶媒体を発行する場合は、当該記憶媒体に複数の異常発行情

報を並べて記録してもよい（請求項２）。

【００１３】

【発明の実施の形態】

以下、本発明をパチンコホールの発券機に適用した一実施例を図面を参照して説明する。

図２は全体の構成を概略的に示している。この図２において、パチンコホールには玉計数機１及び遊技場用記憶媒体発行装置としての発券機２が複数対をなして例えば島端に設置されている。ここで、玉計数機１と発券機２とは通信可能に接続されており、玉計数機１は、パチンコ玉が計数される毎に計数データを発券機２に送信するようになっている。そして、発券機２は、玉計数機１から送信された計数データの累計値及び発券Ｎｏ．（シリアルＮｏ．）が記録された記憶媒体としての預り券を発行する。また、発券機２は、預り券を発行する場合は、発券情報（発券Ｎｏ．及び計数データ等、発行情報に相当）を中継器３を通じて管理装置としての親ＰＯＳ（Point Of Sales）４に送信する。

【００１４】

親ＰＯＳ４及び子ＰＯＳ５は景品交換カウンタに設置されており、同一の機能を有する。この場合、親ＰＯＳ４は発券機２から発券情報を入力する毎に発券情報を順次記憶する。また、子ＰＯＳ５は、操作に応じて親ＰＯＳ４が記憶している発券情報にアクセスできるようになっている。

【００１５】

図１は発券機２の構成を概略的に示している。この図１において、発券部６は制御部７からの指令に応じて預り券を発行する。時計部８は、現在時刻を制御部７に出力する。ＲＯＭ９には制御部７が動作するためのプログラムが記憶されている。ＲＡＭ１０には制御部７の動作に従って各種データが記憶される。表示部１１は、制御部７からの表示データを表示する。

【００１６】

返却無ボタン１２はパチンコ玉を計数した際に遊技客が余り玉の返却を希望しない場合に操作されるようになっており、操作されたことを示す信号を制御部７に出力する。返却有ボタン１３はパチンコ玉を計数する際に遊技客が余り玉の返却を希望する場合に操作されるようになっており、操作されたことを示す信号を制御部７に出力する。

【００１７】

モード切替スイッチ１４は発券モードを通常モード若しくは再発行モードの何れかに切替える際に操作されるもので、切替えられたモードを示すモード信号を制御部７に出力する。この場合、再発行モードとは、発行した預り券を再度発行することであり、通常時においては通常モードが設定されている。

【００１８】

次に上記構成の作用について説明する。

図３は発券機２の動作を示している。この図３において、発券機２は、電源投入直後若しくは初期状態においては、モード切替処理を実行する（ステップＡ１）。このモード切替処理では、モード切替スイッチ１４が操作されたときに切替えられたモードを設定する。この場合、通常時においては通常モードが設定されているので、発券機２は、モード切替処理を実行しながら、再発行モードに設定されたか（ステップＡ２）、玉計数機１から計数開始信号が入力したかを監視している（ステップＡ３）。

【００１９】

一方、図４は玉計数機１の動作を示している。この図４において、玉計数機１は、パチンコ玉が投入されたときは計数開始と判断し（ステップＢ１）、計数開始信号を発券機２に出力してから（ステップＢ２）、計数処理を実行すると共に（ステップＢ３）、計数データを発券機２に送信する（ステップＢ４）。従って、遊技客が玉計数機で獲得パチンコ玉を計数したときは、玉計数機１から発券機２に計数データが順次出力される。

【００２０】

さて、上述のようにして玉計数機１から計数開始信号が発券機２に出力されると、発券

機２は、計数開始信号を入力したときは（図３のステップＡ３）、計数表示処理を実行する（ステップＡ４）。この計数表示処理では、玉計数機１から入力する計数データに基づいて計数玉数の累計値を表示部１１に表示する。

そして、玉計数機１は、パチンコ玉の計数が終了したときは計数終了信号を発券機２に送信する（図４のステップＢ６）。

【００２１】

すると、発券機２は、玉計数機１から計数終了信号を入力したときは（図３のステップＡ５）、発券禁止時間帯か否かを判断する（ステップＡ６）。ここで、発券禁止時間帯とは、図６に示すようにパチンコホールの営業開始時間の例えば３０分以前の時間帯、または営業終了時間の例えば３０分以後の時間帯である。つまり、営業時間帯においては発券動作を実行するのは勿論であるが、営業時間帯以外であっても発券動作を行う必要を生じる場合があることから、営業時間帯を含む時間帯以外を発券禁止時間帯に設定しているのである。この場合、発券禁止時間帯は任意に設定することができるようになっている。

【００２２】

ここで、通常時においては玉計数は営業時間帯に行われるので、発券機２は、発券禁止時間帯でないと判断して、ボタン点灯処理を実行する（ステップＡ７）。このボタン点灯処理では、返却無ボタン１２を点灯すると共に、計数したパチンコ玉の総数が特殊景品との交換に必要なパチンコ玉数の正数倍でない場合に返却有ボタン１３を点灯する。つまり、計数した総玉数が特殊景品との交換に必要なパチンコ玉数で割切れなかった場合は余り玉が発生するので、このような場合は、返却無ボタン１２に加えて返却有ボタン１３に対する操作が有効化されたことを遊技客に報知する必要があるからである。

【００２３】

さて、遊技客が点灯されている返却無ボタン１２若しくは返却有ボタン１３を押圧操作すると、発券機２は、何れかのボタンが操作されたときは（ステップＡ８）、営業時間帯か否かを判断する（ステップＡ９）。このとき、営業時間帯であるのが通常であるので、発券機２は、親ＰＯＳ４との間がオフラインか否かを判断する（ステップＡ１０）。このオフラインか否かの判断は、チェック信号を親ＰＯＳ４に送信したときにアンサーバック信号が親ＰＯＳ４から返信されるかにより判断することができる。

【００２４】

そして、発券機２は、親ＰＯＳ４との間が正常にオンライン接続されていると判断したときは、リクエスト信号を親ＰＯＳ４に出力する（ステップＡ１１）。このリクエスト信号は、図７に示すようにリクエスト信号であることを示す符号「Ｒ」及び当該発券機２のＩＤコードから構成されている。

【００２５】

一方、親ＰＯＳ４の動作を示す図５において、親ＰＯＳ４は、電源の投入直後若しくは初期状態においては、発券機２からリクエスト信号が入力するか（ステップＣ１）、計数データが入力するか（ステップＣ３）、預り券を読込むかを監視している（ステップＣ５）。

【００２６】

このとき、発券機２からリクエスト信号が親ＰＯＳ４に送信されるので、親ＰＯＳ４は、リクエスト信号を入力したときは（ステップＣ１）、発券Ｎｏ．信号をリクエスト信号が示すＩＤコードに対応する発券機２に出力する（ステップＣ２）。この発券Ｎｏ．は、図８に示すように発券Ｎｏ．信号であることを示す符号「Ａ」及び発券Ｎｏ．から構成されている。

【００２７】

さて、発券機２は、親ＰＯＳ４から発券Ｎｏ．を入力したときは（図３のステップＡ１２）、計数データ信号を親ＰＯＳ４に出力する（ステップＡ１３）。この計数データ信号は、図９に示すように計数データ信号であることを示す符号「Ｄ」、当該発券機のＩＤコード、発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値（遊技媒体数）、発券時間、預り券の発行種別を示している。この場合、預り券の発行種別には、通常発行であることが示されている。

【００２８】
ここで、発券機２から計数データが出力されると、親ＰＯＳ４は、計数データを入力したときは（図５のステップＣ３）、その計数データをデータメモリに登録する（ステップＣ４）。つまり、図１１に示すようにデータメモリには、玉計数機１毎に発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値、発券時間、発券の種別が登録される。
【００２９】
続いて、発券機２は、図１２に示す預り券（１）を発行してから（ステップＡ１４）、図１０に示すデータメモリに発券情報を登録する（ステップＡ１５）。この場合、発券可能時間帯におけるオンラインによる発券処理であるので、発券機２は、図１０（ａ）に示すオンライン用のデータメモリに発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値、発券時間、発券の種別を登録する。
【００３０】
以上の動作により、発券機２からは預り券（１）が発行されるので、その預り券（１）を景品交換カウンタに提出することにより、獲得したパチンコ玉を所望の景品に交換することができる。
【００３１】
ところで、上述したようにして預り券を発行する際に種々の異常状態が発生した場合、預り券を正常に発行することができなくなるものの、本実施例では、次のようにして異常発生時に預り券を発行すると共に異常の発生に対処するようにしている。
【００３２】
［１］営業時間帯において再発行操作が行われた場合……
発券機２から預り券を発行する際に、紙詰り、電源断等のトラブルが発生して預り券を発行できなかったときは、従業員は、発券機２のモード切替スイッチ１４を操作することにより再発行モードを設定する。
【００３３】
すると、発券機２は、再発行モードを設定した状態で（図３のステップＡ２）、再発行操作が行われたときは（ステップＡ１６）、発券禁止時間帯か否かを判断する（ステップＡ１７）。このとき、発券禁止時間帯ではないので、発券機２は、営業時間帯か否かを判断し（ステップＡ１８）、営業時間帯のときは図１３に示す預り券（２）を発行してから（ステップＡ１９）、図１０に示すデータメモリに発券情報を登録する（ステップＡ２１）。この場合、発券可能時間帯における再発行による発券処理であるので、発券機２は、図１０（ｃ）に示す再発行用のデータメモリに発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値、発券時間、発券の種別を登録する。
【００３４】
ここで、預り券（２）には、計数されたパチンコ玉の総玉数と再発行処理であることを示す異常発行情報としての「再発行」という文字が白抜きで印刷されている。
尚、この再発行処理においては、発券機２は、先の発行処理時に親ＰＯＳ４に計数データ信号を送信しているので、計数データ信号を再送することはない。
【００３５】
［２］営業時間帯において親ＰＯＳ４との間の通信ラインがオフライン状態であった場合……
発券機２と親ＰＯＳ４との間の通信にトラブルが発生した場合は、発券機２から親ＰＯＳ４にチェック信号を送信するものの親ＰＯＳ４からはアンサーバック信号が返信されないので、発券機２は、営業時間帯においてオフラインであると判断したときは（図３のステップＡ１０）、図１４に示す預り券（３）を発行してから（ステップＡ２８）、図１０に示すデータメモリに発券情報を登録する（ステップＡ１５）。この場合、発券可能時間帯におけるオフラインによる発券処理であるので、発券機２は、図１０（ｂ）に示すオフライン用のデータメモリに発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値、発券時間、発券の種別を登録する。
【００３６】

ここで、預り券３には、計数されたパチンコ玉の総玉数とオフライン状態での発行であることを示す「オフラインハッコウ」という文字が白抜きで印刷されている。

【００３７】

［３］発券可能時間帯で且つ営業外時間帯において親ＰＯＳ４との間の通信ラインがオフライン状態で預り券を発行する場合……

発券機２は、営業外時間帯でオフラインであると判断したときは（図３のステップＡ２２）、図１７に示す預り券（４）を発行してから（ステップＡ２３）、図１０に示すデータメモリに発券情報を登録する（ステップＡ１５）。この場合、営業外時間帯におけるオフラインによる発券処理であるので、発券機２は、図１０（ｂ）に示すオフライン用のデータメモリに発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値、発券時間、発券の種別を登録する。

【００３８】

ここで、預り券（４）には、計数されたパチンコ玉の総玉数と営業外時間帯のオフライン状態での発行であることを示す異常発行情報としての「ジカンガイハッコウ　オフラインハッコウ」という文字が白抜きで印刷されている。

尚、この発行処理においては、発券機２と親ＰＯＳ４との間の通信がオフライン状態であるので、発券機２は、親ＰＯＳ４に計数データ信号を送信することはない。

【００３９】

［４］発券可能時間帯で且つ営業外時間帯において再発行操作された場合……

発券機２は、再発行モードが設定された状態で発券可能時間帯で且つ営業外時間帯において再発行操作された場合は（ステップＡ１８）、図１６に示す預り券（５）を発行してから（ステップＡ２０）、図１０に示すデータメモリに発券情報を登録する（ステップＡ２１）。この場合、営業外時間帯における再発行による発券処理であるので、発券機２は、図１０（ｃ）に示す再発行用のデータメモリに発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値、発券時間、発券の種別を登録する。

【００４０】

ここで、預り券（５）には、計数されたパチンコ玉の総数と営業外時間帯の再発行であることを示す異常発行情報としての「ジカンガイハッコウ　再発行」という文字が白抜きで印刷されている。

尚、この再発行処理においては、発券機２は、先の発行処理時に親ＰＯＳ４に計数データ信号を送信しているので、計数データ信号を再送することはない。

【００４１】

［５］発行可能時間帯で且つ営業外時間帯において親ＰＯＳ４とオンライン接続されている状態で預り券を発行する場合……

発券機２は、リクエスト信号を親ＰＯＳ４に出力してから（図３のステップＡ２４）、親ＰＯＳ４から発券Ｎｏ．が入力するかを監視するようになる（ステップＡ２５）。このとき、親ＰＯＳ４から発券Ｎｏ．が出力されるので、発券機２は、親ＰＯＳ４から発券Ｎｏ．を入力したときは、計数データ信号を親ＰＯＳ４に出力すると共に（ステップＡ２６）、図１５に示す預り券（６）を発行してから（ステップＡ２７）、図１０に示すデータメモリに発券情報を登録する（ステップＡ１５）。この場合、営業外時間帯におけるオンライン発行による発券処理であるので、発券機２は、図１０（ａ）に示すオンライン用のデータメモリに発券Ｎｏ．、パチンコ玉の計数値、発券時間、発券の種別を登録する。また、親ＰＯＳ４に送信する計数データ信号の発行種別には、営業外時間帯での発行であることが示されている。

【００４２】

ここで、預り券（６）には、計数されたパチンコ玉の総数と営業外時間帯の発行であることを示す異常発行情報としての「ジカンガイハッコウ」という文字が白抜きで印刷されている。

【００４３】

［６］発券禁止時間帯に発券動作する場合……

例えば不正により発券禁止時間帯に預り券の発券動作が行われた場合は、発券機２は、

図１０に示すデータメモリに発券情報を登録する。この場合、発券禁止時間帯における発券処理であるので、発券機２は、図１０（ｄ）に示す発券禁止時間帯用のデータメモリに計数Ｎｏ．、計数値、計数時間を登録する。

【００４４】

さて、上述のようにして発券機２から発行された預り券を景品交換カウンタに提出すると、従業員は、まず、預り券を確認する。つまり、異常な状態時に発行された預り券には図１３乃至図１７に示すように異常状態が印刷されているので、従業員は、預り券がどのような異常状態で発行されたかを確認することができる。この場合、特に預り券がオフライン発行されたものであるときは、親ＰＯＳ４に発券情報が記憶されていないので、注意を要する。

【００４５】

尚、発券機２のオフライン用のデータメモリには発券情報が記憶されているので、預り券の真偽を判定することはできる。

【００４６】

そして、預り券が一応正規のものであると判断したときは、預り券を親ＰＯＳ４または子ＰＯＳ５に読込ませる。すると、親ＰＯＳ４（子ＰＯＳ５）は、預り券が読込まれたときは（図５のステップＣ５）、メモリに記憶されている発券情報を読込み（ステップＣ６）、該当データがあるか否かを判断する（ステップＣ７）。このとき、発券情報に該当データがあった場合は、景品取引処理を実行してから（ステップＣ８）、該当メモリに景品取引処理が済んだことを登録する（ステップＣ９）つまり、図１１に示すデータメモリの処理済エリアにフラグをセットする。この景品取引処理では、データメモリに記憶している計数値に基づいて交換可能な特殊景品数及び余り玉数を表示する。従って、従業員は、表示された特殊景品数の特殊景品を払出すと共に、余り玉若しくは当該余り玉に相当する一般景品を払出す。

【００４７】

また、発券情報に該当データがなかったときは、エラー処理を実行する。このエラー処理では、データメモリに記憶されている種別に基づいて通常の発行処理か、異常状態時の発行処理かを判断し、異常状態時の発行処理の場合は、異常の内容を表示する。この場合、親ＰＯＳ４は、子ＰＯＳ５からのアクセスによるエラー処理を実行するときは、預り券が正常な状態でない発行であることを示す信号を子ＰＯＳ５に送信する。これにより、子ＰＯＳ５は、預り券が正常な状態での発行でないことを表示する。

【００４８】

上記構成のものによれば、発券機２は、異常状態時に預り券を発行する際に当該預り券にパチンコ玉の計数値に加えて異常発行の内容を示す異常発行情報を印刷するようにしたので、遊技客が景品との交換のために預り券を景品交換カウンタに提出したときに、従業員は、預り券に印刷された異常発行情報を確認することにより異常内容に応じて適切に且つ迅速に対処することができる。

【００４９】

また、発券機２は、正常状態に加えて異常状態で預り券を発行する際にも発行情報を記憶するようにしたので、親ＰＯＳ４に発行情報を伝達することができない場合であっても、預り券の不正に対処することが可能となる。

【００５０】

本発明は、上記実施例にのみ限定されるものではなく、次のように変形または拡張できる。

記憶媒体としては、磁気カードを利用するようにしてもよい。

パチスロのメダル計数に適用するようにしてもよい。

パチンコホール以外の遊技場に適用するようにしてもよい。

【００５１】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように、本発明の遊技場用記憶媒体発行装置によれば、管理装

置との間の通信にトラブルが発生したオフライン状態で記憶媒体を発行する場合は、当該記憶媒体にオフライン状態での発行であることを示す異常発行情報を記録すると共に、発行情報をメモリに記憶することによって、オフライン状態で記憶媒体を発行した場合であっても当該記憶媒体の真偽を判定できるようにしたので、遊技媒体数を示す遊技媒体情報が記録された記憶媒体を発行すると共にそのことを示す発行情報を管理装置に伝達する構成において、不正な記憶媒体が使用されてしまうことを防止できるという優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の一実施例における発券機の構成を示す概略図

【図２】全体構成を示す概略図

【図３】発券機の動作を示すフローチャート

【図４】玉計数機の動作を示すフローチャート

【図５】親ＰＯＳの動作を示すフローチャート

【図６】発券禁止時間帯と発券可能時間帯と営業時間帯との関係を示す図

【図７】発券Ｎｏ．リクエスト信号を示す模式図

【図８】発券Ｎｏ．信号を示す模式図

【図９】計数データ信号を示す模式図

【図１０】発券機データメモリを示す模式図

【図１１】親ＰＯＳデータメモリを示す模式図

【図１２】預り券（１）を示す図

【図１３】預り券（２）を示す図

【図１４】預り券（３）を示す図

【図１５】　預り券（６）を示す図

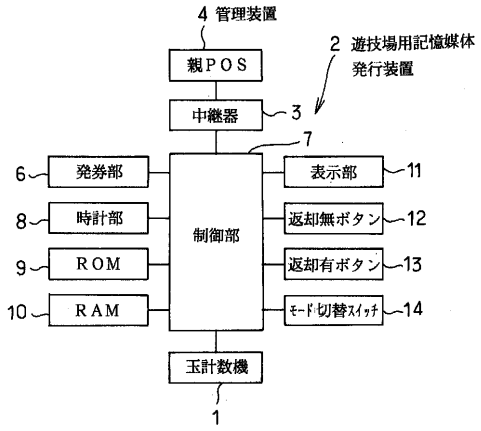
【図１６】預り券（５）を示す図

【図１７】　預り券（４）を示す図

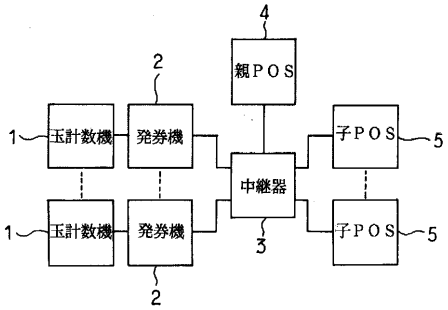
【符号の説明】

１は玉計数機、２は発券機（遊技場用記憶媒体発行装置）、４は親ＰＯＳ（管理装置）、１４はモード切替スイッチである。

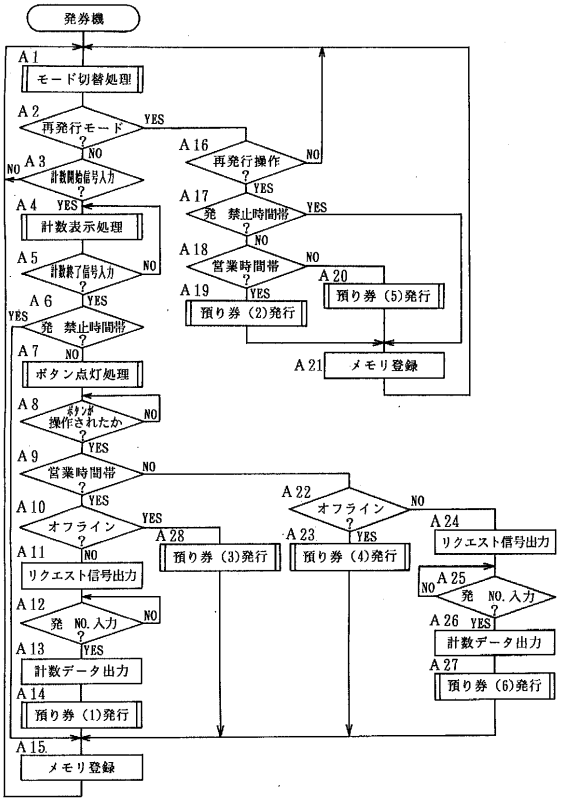
【図１】


4 管理装置
親ＰＯＳ
2 遊技場用記憶媒体
発行装置
中継器
3
7
6 発券部
8 時計部
9 ROM
10 RAM
制御部
表示部 11
返却無ボタン 12
返却有ボタン 13
ﾓｰﾄﾞ切替ｽｲｯﾁ 14
玉計数機
1

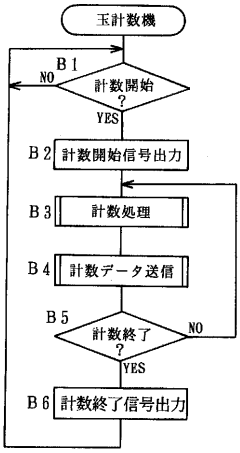
【図２】


4
親ＰＯＳ
2
1 玉計数機
発券機
子ＰＯＳ 5
中継器
3
1 玉計数機
発券機
子ＰＯＳ 5
2

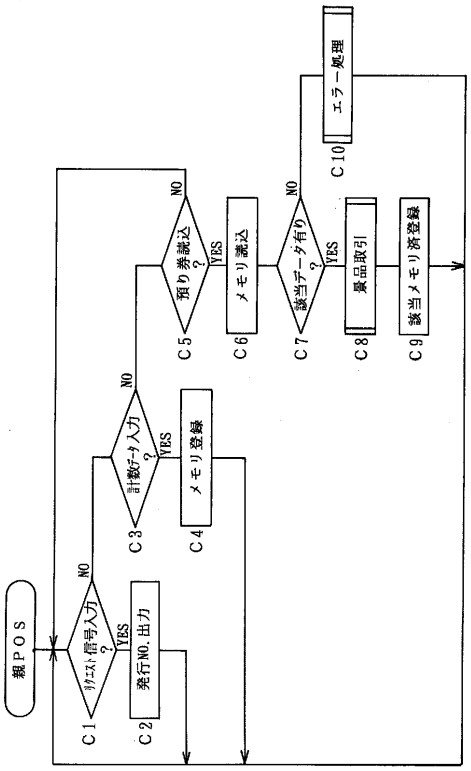
【図３】


発券機
A 1 モード切替処理
A 2 再発行モード？ YES
NO
A 16 再発行操作？ NO
YES
A 3 計数開始信号入力？ NO
YES
A 17 発 禁止時間帯？ YES
NO
A 4 計数表示処理
A 18 営業時間帯？ NO
YES
A 20 預り券（5）発行
A 5 計数終了信号入力？ NO
YES
A 19 預り券（2）発行
A 6 発 禁止時間帯？ YES
NO
A 21 メモリ登録
A 7 ボタン点灯処理
A 8 ボタン操作されたか？ NO
YES
A 9 営業時間帯？ NO
YES
A 22 オフライン？ NO
YES
A 24 リクエスト信号出力
A 10 オフライン？ YES
NO
A 28 預り券（3）発行
A 23 預り券（4）発行
A 11 リクエスト信号出力
A 25 発 NO.入力？ NO
YES
A 12 発 NO.入力？ NO
YES
A 26 計数データ出力
A 13 計数データ出力
A 27 預り券（6）発行
A 14 預り券（1）発行
A 15 メモリ登録

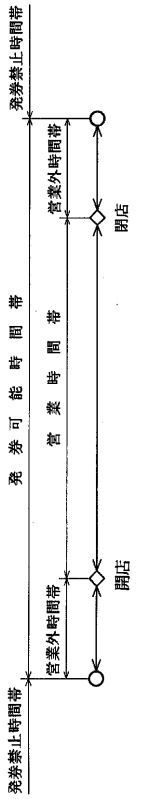
【図４】


玉計数機
B 1 計数開始？ NO
YES
B 2 計数開始信号出力
B 3 計数処理
B 4 計数データ送信
B 5 計数終了？ NO
YES
B 6 計数終了信号出力

【図５】


エラー処理
C 10
NO
預り券読込？ YES
C 5
メモリ読込
C 6
NO
該当データ有り？ YES
C 7
景品取引
C 8
該当メモリ消去
C 9
NO
計数データ入力？ YES
C 3
メモリ登録
C 4
親ＰＯＳ
NO
リクエスト信号入力？ YES
C 1
発行NO.出力
C 2

【図６】



【図７】

発券NO. リクエスト信号（発券機→親POS）

R	ID	
	9	9

【図８】

発券NO. 信号（親POS →計数機）

A	発券NO.				
	9	9	9	9	9

【図９】

計数データ信号（発券機→親POS）

D	ID		発券NO.					計数値					発券時間				種別
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X

【図１０】

＜発券機データメモリ＞

(a)

オンライン															
発券NO.					計数値					発券時間				種別
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X

(b)

オフライン															
発券NO.					計数値					発券時間				種別
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X

(c)

再発行															
発券NO.					計数値					発券時間				種別
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X

(d)

発券禁止時間										
計数NO		計数値					計数時間			
9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M
9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M
9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M

【図１１】

＜親POS データメモリ＞

計数機NO. 01															
発券NO.					計数値					発券時間				種別	処理済
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X	F
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X	F
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X	F
計数機NO. 99															
発券NO.					計数値					発券時間				種別	処理済
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X	F
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X	F
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	H	H	M	M	X	F

【図１２】



【図１３】



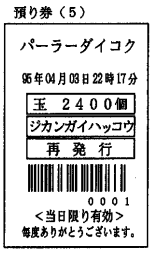
【図１４】



【図１５】



【図１６】



【図１７】



フロントページの続き

審査官　太田　恒明

(56)参考文献　実開平０７－０１５０８８（ＪＰ，Ｕ）
特開平０２－１２５３９５（ＪＰ，Ａ）
特開平０４－１６１１８３（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
A63F 7/02